

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/09/05 ～2018/09/28 )

### 1. 勉学の状況

9月10日から授業が始まって、現在3週目です。履修予定の授業は『Gramática para la Enseñanza del Español I』、『Gramática para la enseñanza del Español II』、これらはスペイン語話者でない外国人に、どのように文法を教えるか、という授業で、今まで日本で学習してきた切り口とは全く異なったアプローチで文法を学べると思って履修を決めました。『I』も『II』もそれぞれ月曜日と火曜日に同じ内容の授業があるので、(履修者が多いので現地の学生は苗字順で二つに分けられています) まだ慣れないうちは、月曜と火曜、両方に出席しようと考えています。

『Seminario de Traducción japonés-español』は日本語学習者向けの授業で、日本語の文をスペイン語に翻訳する授業です。より自然な言い回し、単語の持つより正確なニュアンスを学べると思い履修を決めました。千葉大でいうところの moodle に課題がアップロードされ、その文章の訳を用意した状態で授業に臨む、という形式の授業で、授業内では喧々諤々この訳はどうだ、それは不自然だ、この表現がいい、など教授と生徒が活発に議論し合う中で訳を作っていきます。いつかこの議論に参戦してやろうという気持ちです。履修予定の授業は以上の三つです。

もうひとつ、『Textos Fundamental Literatura Español Actual』という授業を聴講予定です。スペイン人の友人曰く、Literatura の授業は非常に難易度が高く、スペイン人ですら8割合格できないそうなので、履修は諦めました。ちなみに現在3回ほど出席したのですが、最初から最後まで、ほぼ何の話をしているか理解できません。帰国までに何か論文のヒントになるような知識を学び取りたいところです。大学の授業については以上です。

大学の授業の他に語学学校にも通おうと考えています。クラスは DELE のレベル別で分けられるようで、一緒に入学予定の友人たちは A2 を持っているのに対して私は DELE を受けたことがなかったので、クラス分けテストを受ける必要があり、実は今日ちょうどそれを受験してきたところです。とても難しくて、これはダメだ、と諦めかけましたが、無事に A2 相当のレベルに認定されました。今とてもうれしいです。

今日のテストもそうですが、やはり自分の勉強不足から意思の疎通ができなかったり、悔しい想いをすることが多かった一ヶ月でした。この悔しさに慣れてしまわないうちに、努力を重ねたいと思います。

### 2. 生活の状況

スペインに入国したまさに直後、空港でお金を引き出そうとしたらお金が出てこず、しかし記録ではしっかりお金が引き落とされている、というトラブルに巻き込まれました。あの 300 ユーロは入国税だと思ふことにします。それを除いては特に主だったトラブルに巻き込まれるこ

ともなく、無事に生活しています。

私は寮ではなく、ピソという学生同士のルームシェアのような形式のところに住んでいます。個室がそれぞれにあって、キッチンやバスルームは共用です。ルームメイトの子とは、僕の言語運用能力が不足しているためなかなか深いコミュニケーションができません。悔しいです。日本から醤油や味噌などの調味料を持参したので、楽しく自炊しています。電子レンジに入れて使う特殊な容器を購入したので、お米も炊けています。少しずつスペインならではの食材や味付けに挑戦したいと考えています。

毎週木曜日に、日本語学習者と日本人の交流会が開かれていて、その会をきっかけに何人かスペイン人の友人もできました。ただ、彼らは非常に日本語が上手で、気が付いたら日本語で話してしまっていた場面が多々あり、気を付けないと、と思います。その中の何人かが定期的に勉強会を企画してくれて、お互いにお互いの勉強における疑問を質問し合うことができ、日々の勉強の助けになっています。彼らは中学生レベルの漢字だったり、日本語の助詞や副詞などのもつそれぞれのニュアンスの違い、など勉強していて、同じ外国語学習者として、もっと努力しないといけないな、といつも気を引き締められます。

こちらの人々は、何につけてもおおらかで、例えば喫茶店の店員がタバコを吸っていてもそれをお客さんは何もとがめないし、マンションのエレベーターに乗り合わせた住人の方は降りるときに「またね」と声をかけてくれたり、人と人の関係が日本より暖かく感じます。

まだスペインでの生活が始まって一ヶ月ですが、非常に過ごしやすく、居心地の良さも感じています。残りの五か月間、一日一日を大切に過ごしていけたらと思います。

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/10/01 ～2018/10/31 )

### 1. 勉学の状況

履修登録を終え、授業のリズムにも慣れてきました。相変わらず授業の内容を理解しきることはできません。はじめの頃よりは聞き取れるようになってきてはいるのですが、やはり話の途中で知らない単語が出てくるとそこで集中が途切れてしまい、以降全く聞き取れない、ということが多いです。

近くに座ったスペイン人の子に授業後に連絡先を交換し、連絡を取って後日一緒に勉強する、ということに付き合ってくれる優しい人を何人か見つけました。授業中わからなかったことを聞いたり授業の予習を一緒にやったりするなかで、自然なコミュニケーションの練習もできています。通常の授業と語学学校の授業の他に、教育学専攻の院生？詳しくはよくわかりませんが、外国人留学生向けのボランティア授業があり、それにも参加しています。少人数の会話中心で、かつ「道案内」や「スペインの祝日」など毎回様々なテーマに沿ってワークを行うのでとても楽しく参加しています。

二ヶ月過ぎたことでだいたい自分は何が得意で何が足りていないか見えてきた気がするので、なるべく早く上達するよう努力しようと思います。

ちなみに、三年次論文についてはそろそろ取り掛からなければ、と思いつつもノータッチです。

### 2. 生活の状況

マドリードに旅行に行きました。ご飯もおいしく、買い物もできて非常に楽しかったのですが、宿泊先の鍵を部屋に置き忘れてしまい、部屋から閉め出されるというハプニングがあり、朝まで外で時間をすごす羽目になりました。幸い何事もなく朝を迎えることができ、翌日の昼には部屋に入ることができたのですが、きちんと危機管理をしなければいけないと反省しました。

次の週はアストゥリアス地方に旅行に行きました。友人の帰省についていて、彼の家族にいろいろと案内をしてもらいました。アストゥリアス地方はスペイン北部の地域で、私が滞在しているサラマンカと比べると非常に自然が豊かで、癒されました。ご飯もすごくおいしかったです。タコがおいしかったです。正直西洋人はタコを食べないイメージだったので、「ま、日本で食べていたものにはかなわないだろうな」と思って口にしたら衝撃を受けました。身はプルプルホロホロで柔らかく、香りもふんわりと優しく口に広がり、正直私はこっちのタコのほうがおいしいと感じました。

話を聞いていると、どうもルームメイトとそりが合わないもしくは生活スタイルの違いからなかなか共同生活に苦労している友人もいるのですが、僕の場合ルームメイトには恵まれたな、と思います。最近は少しずつ雑談を交わすようになり、先日は彼女の実家の郷土料理を振舞ってく

れて、とてもおいしくてとてもうれしくて感動しました。今は帰省していないのでとても寂しいです。

スペインの生活にはほぼ完全に慣れて、楽しく生活しています。ただラーメンと牛丼が本当に恋しいです。残りの時間も精一杯楽しんでいこうと思います。

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/11/01 ～2018/11/30 )

### 1. 勉学の状況

そろそろ三年次論文に取り掛からなければと思い、こちらで親しくなった日本人の研究員の方のアドバイスを受けることにしました。正直取り掛かるのが遅すぎたようにも思いますが、まだ間に合うとも思うので二か月後後悔しないようにしっかりやっつけていこうと思います。

テストを来月に控え、ぼちぼち試験を意識して勉強しているところです。幸いにも、僕が履修している授業を友人が以前履修していて、わからないところを教えてくれたり、どのような対策をすればよいのか教えてくれて、本当にこちらの学生には頭が上がりません。

今月は来た時と比べて自分の成長を感じるが多かった月でした。

ある日僕はいつものように友人と談笑していたのですが、ふと自分がほぼスペイン語を使って会話をしている瞬間があった事に気づき、活用や時制でつかえていてまともに話せなかったころと比べて成長を感じました。また授業中も、はじめの頃は正直何を話しているか全く聞き取れなかったのに対し、最近は（特に翻訳の授業で日本の文化を扱うときなど）この教授の言っていることは間違えているんじゃないかと気づくこともできるようになりました。

語彙を増やせばもっとスムーズに会話ができるようになると思いました。

### 2. 生活の状況

先月、僕はルームメイトに恵まれたと書きました。報告書を送ったまさに次の日、大家から怒りの連絡が来ました。これ以上君が掃除をしないつもりなら、2人の同居人に掃除料を払え、というものでした。結論から言えばそれは誤解で、僕はきれいに掃除をしていました。しかし同居人のスペイン人で、普段は家におらず彼氏の家に住んでいて、稀に僕たちの部屋に帰ってくる子が部屋に帰ってきたときに床や廊下が汚れているのを見て僕のせいにしたそうです。実は入居したての九月、ある日僕が洗濯機を使おうと思ったら壊れていた所以大家に連絡したら、スペインの子は僕がやったって言うよ、と言われました。僕のことを嫌いなのかわかりませんが、僕のせいにする傾向があったようです。最終的に大家ともう一人の同居人とは誤解が解けたのですが、やはり共同生活は難しかったです。今回の件で、おそらく性別や文化によってキレイ、汚れているなどの基準や、これは許せる、これは許せないなどの基準が異なるのだろう、ということを実感しました。これ以上理不尽なことを言われないう、より一層きちんと掃除をしたいと思えます。

自分に残された時間の短さを感じるようになってきました。有意義な時間を過ごしたいです。

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/12/01 ～2018/12/31 )

### 1. 勉学の状況

テストがありました。履修している三つのうち二つを終え、あと一つは一月です。

文法の授業で、試験は全て持ち込み可です。授業プリント、ノート、パソコン、スマホ、なんでも持ち込み可で、驚いたのは試験中にスマホを使って相談するのも可能らしいです。ただ、量がとんでもなく多く、僕の場合は回答に試験時間二時間まるまるかかりました。思い返してみれば二時間ぶっ続けで文字を書いたことは人生で初めてかな、と思います。試験後右手親指の付け根が紫色になってました。本当です。

試験を受けるに際して、友人が以前同じ授業を受けていたので、試験勉強を大きく助けてくれました。どこが要点で、どんな風に回答を作ればいいのか、そして過去の試験を見せてくれたり、本当に助かりました。感謝でいっぱいです。こちらの学生は本当に留学生に対して親身になって助けてくれるので、感謝はもちろんいつも驚かされます。

三年次論文はぼちぼちといったところです。こちらにいる日本人で研究をしている友人が本を貸してくれたり、図書館で探したり、資料集めは何とか何とかといった感じです。これを見ている人でいつの日か映画を題材に論文を書こうとしていて、脚本を探している人にアドバイスです。文献学部の図書館にはあまり脚本は置いていないので、文献学部からそう離れていない公立図書館のほうが資料はたくさんあります。そしてそれより、法学部があるキャンパスの方にある、la Universidad Pontificia の Facultad de Comunicación の図書館がおすすめです。このアドバイスがいつの日か誰かの役に立ちますように。

### 2. 生活の状況

明けましておめでとうございます。

年末は友人の実家があるガリシア地方の Santiago Compostela に行きました。

その友人がどうやらハプスブルク家の末裔の末裔らしく、(家系図を見せてもらいました。) おばあちゃんの家連れて行ってもらったのですが、広くていい意味で古い素敵なおうちでした。

非常に驚いたのが、彼女のおばあちゃんの家で映画“蝶の舌”のワンシーンを撮影したそうです。

(山口先生とその授業を受けている生徒の皆さんに詳しく説明すると、冒頭でモンチョと兄アンドレスが眠っているシーンです。後ろに写真を添付します。)

ガリシア訪問が 23 日に終わってしまい、このままだとクリスマスを一人寂しく過ごすことになってしまうと思ったので、急遽アムステルダムに一人旅に行ってきました。楽しかったですがやはり寂しかったです。僕にはあまり一人旅は向いていないと感じました。

残すところ一ヶ月となってしまいました。悔いの残らないよう一日一日大切に過ごしていきたいです。



## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/01/01 ～2018/01/21 )

### 1. 勉学の状況

最後のテストが終わりました。翻訳の授業の試験だったのですが、これも文法の授業のテストと一緒にすべて持ち込み可で、whatsapp (日本でいう LINE です) で試験中相談可という日本では考えられないルールでした。ぼくもチャットに招待してもらえたのですが、あまり必要に思えなかったので、(もし活用するとしても冠詞とか言い回しとか不自然なと誰か直してくれ! という感じで全文投稿するような感じになるな、と思ったので) 自力でやりました。もし不合格だったらごめんなさい。

僕が受講している授業は全てこういった形式だったので、これがメジャーな方法なのかな、と思っていたら別にそんなこともないようです。僕のピソの管理人の方は大学で授業を教えている教授の方なのですが、彼女に試験は持ち込み可で相談可だと教えたら驚いていました。先生によって方法は違うようです。

三年次論文は書き終わりました。文学部の国際の後輩たちのために正直に申し上げると、12月30日くらいから書き始めて1月10日ごろには書き終わりました。もちろん前もって取り掛かるには越したことはありませんが、授業などがありなかなかまとまった時間が取れず先延ばしにしてしまい12月を迎えてしまうこともあると思います。ですがそこから書き上げるのは不可能ではないのであまり心配し過ぎる必要もないと思います。ただ、本腰を入れて取り掛かるまで、ある程度自分に興味のあるテーマでどのような研究がなされているのか、どんな資料が必要になりそうか、それはどこに行けば手に入りそうなのか、などある程度アンテナを張り巡らせておくことは必要だと思います。意外と友人同士の何気ない会話から面白そうなテーマが思いつくということもあると思いますし、スペインの学生はどんなことを考えていてどんな問題意識を持っているか観察するのは研究の題材のきっかけになりうると思います。

語学学校は一月に試験があったそうですが、学校の試験もあったし、三年次論文もあったので行きませんでした。僕の場合学校の授業以外に勉強できる時間が増やせればと思って通い始めたので、修了証みたいなのは特に必要ないと思って行きませんでした。サラマンカ大学に留学中のもう一人の子は後期も通うはずなので、必然的に試験も受けているはずですが、ちなみに僕が通っていたのは Escuela Oficial de Idiomas という学校で、学費は確か半年 180€くらいでした。かなり安いと思います。二学期制の1クール半年で、DELEのレベルごとにクラス分けをされます。僕は DELE を持っていなかったので学期が始まる前に試験を受けました。基本週4日(金土日は休み) 授業があって1日2時間、学期が始める前に午前のクラスか午後のクラスかが選べます。一応、リンクを貼っておきますが、実際行ってみて受付で資料をもらうのがいいと思います。  
<http://eoisalamanca.centros.educa.jcyl.es/sitio/>



スペイン語運用能力について。サラマンカは日本人がたくさんいますし、日本語が上手なスペイン人はたくさんいます。なので実際のところスペイン語が喋れなくても充分生活できます。現に、全然スペイン人の友達がいなくて日本人とばかり過ごしている人はたくさんいます。僕は正直なところ、日本人や日本語学習者といえることも多かったのですが、スペイン人が気を使ってわかるようにしゃべってくれることはわかるようになりましたが、スペイン人と同じように聞き、同じように話せるようにはなりません。学内だけではコミュニティが狭すぎるので、例えば酒場でお酒を飲んで、思い切って日本語が全く通じないコミュニティに飛び込んで友達を作ることをしていれば、もっと自分にとって刺激になったのかな、と思います。ただ逆に気が付いたのは、語学力のみに話を限れば日本にいながらにしても充分上達させるツールはたくさんあると思いました。次にスペインに遊びに行ったとき友人たちを驚かせられるようにこれからも頑張っていこうと思います。

ただ、語学力以外に学べたことはたくさんありますし日本にいたら一生気づけなかったことにたくさん気づけました。ここに書くとこれから行く人のネタバレになるので止めておきますが、大いに学びにあふれた半年間だったと思います。

この留学に関わった全ての人に感謝です。

## 2. 生活の状況

僕のスペインでの生活の知恵を思いつく限りでまとめておきます。留学を検討している人は参考にしてみてください。

僕のピソは家賃が光熱費やネットなどもろもろ込みで 285€です。相場よりちょっと高めなのでちゃんと探せばもっと安いところはいくらでもあります。日本でイメージするのは違って不動産会社は介入せず、大家と住人が直接的に部屋の貸し借りをしている感じなので、その気になればすぐ変えることができます。僕は寮でなくてピソでよかったなと思います。

月々のお金は家賃を入れても 10 万円あれば十分足ります。僕は自炊をしていたので 7 万円くらいで済みました。生活費はかなり日本と比べて安上がりだと思います。

バル（バー）がすごく良いです。お酒がすごく安いです。カクテルは少々値が張りますが、ビールとワインはとても安いです。日本の居酒屋の飲み放題 3000 円なんて馬鹿らしく思ってしまう。バルは朝から空いているので、僕は途中から朝ご飯を作るのが面倒になったので毎朝バルで食べてました。一品 1€ くらいなので二品食べてコーヒーを飲んで 3€ くらいです。安いですね。醤油、味噌、めんつゆ、みりん、かつおだし（ほんだしみたいな粉のやつ）、米酢、日本酒はこちらで手に入ります。わざわざ持っていく必要はありません。ただ料理酒はありませんでした。醤油はよくあるスーパーでも手に入りやすいですが、ほかのものは東方商店という中国人のスーパーで買えます。イタリア通りにあるので行って見て下さい。カレーのルウや海苔、鰹節、乾麺なども売っています。

逆に日本から持ってきたもので重宝したのはお茶漬けのもとです。お米もこのスーパーでも手に入ります。炊飯器はもし日本で買ったものを持ち込もうとしているのであれば、やめたほうが

いいです。使えません。炊飯器はこちらで購入できますし、LECUE という蒸し器を買って使えば電子レンジでお米が炊けます。

ブラックフライデーというセールの日があります。飛行機やバスのチケットも安くなるので旅行しようと思っている人は早めに計画を立てておいてこの日にまとめて買うのがおすすめです。いつだったかは僕も忘れてしまったのですが、直前になるとみんな浮足立ってくるのでわかると思います。

化粧水という概念が存在しなさそうなのでこれはある程度持って行ったほうがいいと思います。ただマドリードに無印良品があるので、そこで買うこともできます。

今留学の荷造りをしながらこれを読んでいる人は、今恐らく 7 月か 8 月で暑いと思いますが、スペインにも冬が来ます。日本よりとても寒いです。ヒートテックは絶対に必要です。何をトチ狂ったかヒートテックを持ってこなくて後悔している人がちらほらいます。ヒートテックは必要です。こっちではバルセロナまでいかなければ買えないそうですし高いらしいので持ってくるのが一番です。

服はそれほどたくさん持ってこなくても、こっちで安めに購入できるので、せいぜい 4, 5 日分持ってきて足りないアイテムは購入するのでもいいと思います。ちなみに僕が到着した 9 月の服装は、日中は半そで短パン、朝と夜はかなり冷え込むのでその上に薄めのウィンドブレーカーやマウンテンパーカーを羽織っていました。

僕は耳掃除が大好きなのですが、チョットこっちの綿棒は質が悪い気がします。棒の部分と綿の部分がかすれて耳の中で一番してはいけない音が出て、不快でした。耳掃除が大好きな人は綿棒を持参したほうがいいかもしれません。

ルーズリーフはありません。みんなノートに書くかほんとに真っ白の紙にノートをとっているので、ルーズリーフ派の人は日本から持参したほうがいいです。

喫煙者の方へ。タバコは高いので空港の免税店で 1 カートン買って持ってくるのがいいと思います。こちらで買うと一箱 5€くらいはします。電子タバコユーザーの方へ。Iqos はあります。ただそこまでポピュラーではないのでどこでもヒートスティックが手に入るというわけではないようです。ただ手に入りはします。

マスクは持ってきたほうがいいと思います。こっちではマスクを着けていると病気と思われるほどマスクをつけない文化なので、薬局でも手に入りづらいです。基本的に乾燥しているので持ってきたほうがいいです。

シャンプーとかヘアオイルはあまりよくわかりませんがパンテーンはあります。それで用が済む人はわざわざ持ってくる必要はないと思います。

リップクリームは日本よりあまり種類がなく質もそこまで高くないので持ってきたほうがいいかもわかりません。

僕は花粉症ですが、僕がいた 9 月から 1 月までは症状は出ませんでした。まあまだ春が来ていないのでわかりませんがあまり木はたくさん生えていないので大丈夫かなと思います。一年間滞在した人に聞いてください。

コンセント変換するやつは僕は2個で足りました。なんかいっぱい使う人は3個あってもいいと思います。

紙の辞書は電子辞書が使えたので使いませんでした。多分どの授業のテストでも留学生なら電子辞書使わせてくれると思います。万が一のために僕の紙辞書をスペイン人の友人に託していくか図書館に寄贈するか、どの道サラマンカに残していこうと思うのでそれを使ってください。

ちなみに電子辞書とかに使う電池はこっちで買えます。

友達はできます。ほんとうにこっちの学生は面倒見がいいです。大丈夫です。もしダメだったら木曜日の夜10時くらいにcafé bécquerに行けばアジア圏から来た学生とアジア圏を勉強しているこっちの学生の交流会があるので行ったらいいと思います。

整髪料を使う文化がないので日本ほどたくさん種類がないし質もかなり悪かったのでこだわりがある人は多めに持参したほうがいいかもしれません。

そしてマドリードの空港からサラマンカに向かうにはバスカレンフェという特急列車がおすすめです。バスを使う場合はバラハス空港発サラマンカ着のチケットを買きましょう。

<https://www.checkmybus.com/>

このサイトから買えるはずですよ。

電車で行く場合はチャマルティン駅発サラマンカ着のチケットを買きましょう。チャマルティン駅にはバラハス空港から地下鉄で移動します。

[https://venta.renfe.com/vol/home.do?c=\\_dr6X](https://venta.renfe.com/vol/home.do?c=_dr6X)

チケットはここで買えます。

スペインに到着して間もない頃、「トイレはどこですか？」をスペイン語で何と言うかはっきりわからなかった僕が多用した映画『蝶の舌』の脚本にあったフレーズを書いておきます。“Estoy meando”と、店員さんに言えばすぐトイレの場所を教えてください。ぜひ、たくさん使ってください。

思いつく限りで思いついた順に書いてみました。

有意義な五か月間でした。これから出発する人、頑張ってください。¡Buena suerte!